

新しい総合計画策定のための区民討議会
報告書（概要版）

平成 30 年 10 月

相模原市

■ ～概要版目次～

I. 実施概要	1
1. 目的	1
2. 実施モデル	1
3. 実施日時	1
4. 参加者	2
6. 実施方法	3
7. 区民討議会スケジュール	4
II. 実施結果 討議1「安全・安心」全体総括	6
III. 実施結果 討議2「共生・健康」全体総括	9
IV. 実施結果 討議3「環境」全体総括	12
V. 実施結果 討議4「子ども・教育」全体総括	15
VI. 実施結果 討議5「活力・交流」全体総括	18
VII. 実施結果 討議6「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」全体総括	22
VIII. 区民討議会まとめ	26
1. 参加者の取組状況	26
2. 意見の全体的な傾向	26
IX. 参加者アンケート	30
1. 区民討議会に関して	30
2. 総合計画について	33

I. 実施概要

1. 目的

新たな総合計画の策定にあたり、市政全般に対する市民の意見を頂くため、区民討議会を開催しました。

区民討議会は、市民 4,000 人（18 歳以上）を無作為により抽出し、応募のあった者で実施することにより、普段市政に参加する機会が少なかった市民の方々も含め、世代や職業を越えて集い、まちづくりについて話し合い、その声を行政に届けることを目的としました。

また、各区からバランスよく参加者を募ることにより、区それぞれの現状やニーズを把握することも目的としています。

2. 実施モデル

ドイツで行われている「プラーヌクスツェレ」という市民参加手法がモデルになっています。プラーヌクスツェレは、対象者を無作為抽出し、少人数での討議、参加報酬の支払い、グループの組替えなどを行う手法です。（今回の討議会では無報酬）

これにより、意見の代表性や中立性が担保される点や、住民自身が主体的に成果を求める姿勢が形成されるなどの効果が得られると言われています。

相模原市としては全市的な区民討議会は初めての取組みになります。

<開催の様子の写真>



3. 実施日時

日程	平成 30 年 8 月 18 日（土）10～17 時 平成 30 年 8 月 19 日（日）10～17 時
場所	相模原市市民会館 3 階 第一大会議室

4. 参加者

住民登録のある市民から、無作為抽出した18歳以上の4,000名のうち、参加申込みのあった96名から各区30名を上限に計84名を選出しました。(緑区24名、中央区30名、南区30名)

参加申し込み後、参加キャンセルなどがあったため、当日の参加者は72名となりました。参加者構成は以下のとおりです。(単位：人)

	緑区		中央区		南区		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
10代	0	1	0	1	0	0	2
20代	0	1	1	1	1	0	4
30代	1	1	2	0	2	1	7
40代	3	1	5	1	2	3	15
50代	1	2	2	3	1	2	11
60代	1	2	3	3	4	3	16
70代	4	1	1	4	3	0	13
80代	1	0	0	0	2	1	4
合計	11	9	14	13	15	10	72
	20		27		25		

5. 実施内容

6つの討議テーマを設定し、それぞれの課題と解決に向けて取り組むべきことを討議しました。テーマ内容は以下のとおりです。

	内容	分野例
テーマ	安全・安心	防災・消防、安全・安心、保健衛生、景観・住環境
テーマ	共生・健康	地域福祉、貧困、障害、人権・男女共同参画、高齢、健康、医療
テーマ	環境	温暖化、水源・森林環境、資源循環、都市緑化・公園、緑地・水辺・生物多様性、廃棄物、環境保全、環境教育
テーマ	子ども・教育	子育て、教育、青少年、生涯学習、貧困、障害児
テーマ	活力・交流	雇用、商業・農林業、産業、観光、まちづくり、スポーツ・文化、道路・交通、基地
テーマ	区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える	安全・安心、共生・健康、環境、子ども・教育、活力・交流

6. 実施方法

6つのテーマについて以下の手順で進めました。

参加者のグループ・班分け

↓ 参加者はお住まいの区ごとに「緑区」「中央区」「南区」の3グループに分け、さらにグループ内を5～6名からなる4つもしくは5つの班に分けました。

役割分担

↓ 班の中で、「進行役」「時計係」「書記」「発表係」を決めました。討議ごとに班替えを行い、役割分担は、班替えごとに決め、色々な役割を担当していただきました。

市・区からの情報提供

(資料編P200～参照)

↓ 討議に入る前に、参加者が意見交換を活発に行えるよう、テーマごとに市及び区の担当者が現状や課題、事業内容などを説明しました。

意見出し

↓ 情報提供を聞いて、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことについて思ったことをそれぞれ付箋に書き出しました。

グループ討議・意見の集約

↓ 討議は、「役割分担」に基づき、参加者だけで自由に進行しました。書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出しながら討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

発表・投票

「緑区」「中央区」「南区」それぞれのグループ内で、模造紙や発表用ワークシートを使って、各班の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じたりした意見に投票しました。投票は、1人3票のシールを持ち、発表用ワークシートの投票欄に貼りました(3票のうち、1票は自分の班の意見に投票しても良いが、少なくとも2票は他の班に投票することとしました。)

7. 区民討議会スケジュール

【1日目：8月18日(土)】

時間	概要
10:00～10:05	開会のことば・挨拶（相模原市企画財政局長）
10:05～10:30	全体ガイダンス・アイスブレイク「相模原市クイズ」
10:30～12:10	<p>【討議1】</p> <p>「安全・安心」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《個人作業・意見出し》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《グループワーク》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《区内発表&投票・全体共有》</p>
12:10～13:10	休憩（席替え）・昼食
13:10～14:50	<p>【討議2】</p> <p>「共生・健康」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《個人作業・意見出し》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《グループワーク》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《区内発表&投票・全体共有》</p>
14:50～15:05	休憩（席替え）
15:05～16:45	<p>【討議3】</p> <p>「環境」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《個人作業・意見出し》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《グループワーク》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《区内発表&投票・全体共有》</p>
16:45～17:00	1日目のまとめ

【2日目：8月19日(日)】

時間	概要
10:00～10:05	挨拶
10:05～10:20	前日の振り返り・ガイダンス
10:20～12:00	【討議4】 「子ども・教育」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》 ↓ 《個人作業・意見出し》 ↓ 《グループワーク》 ↓ 《区内発表＆投票・全体共有》
12:00～13:00	休憩（席替え）・昼食
13:00～14:40	【討議5】 「活力・交流」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》 ↓ 《個人作業・意見出し》 ↓ 《グループワーク》 ↓ 《区内発表＆投票・全体共有》
14:40～14:55	休憩（席替え）
14:55～16:45	【討議6】 「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」 《役割決め》 ↓ 《個人作業・意見出し》 ↓ 《グループワーク》 ↓ 《区内発表＆投票・全体共有》
16:45～17:00	2日目のまとめ・閉会の言葉（中央区長）

II. 実施結果 討議 1 「安全・安心」 全体総括

全体の意見をまとめると、以下の5つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「防犯・防災設備による機能の強化」で、特に防犯カメラの設置に関する意見は緑区、中央区、南区のいずれの区でも出ています。

自転車マナー・交通安全の徹底

「自転車マナー・交通安全の徹底」については、都市部が多くを占める中央区、南区で多く意見が出ています。特に、自転車利用者のマナー向上につなげるための意見が多く、免許や講習の義務化といった取組みが検討されています。

空き家の活用

空き家の増加が地域の安全・安心を脅かすという視点で、空き家を積極的に活用するべきであるという意見が多く出ています。特に中央区では3つの班から意見が出ており、中心部での空き家問題が区民から見ても顕著になっていることが伺えます。

防犯・防災設備による機能の強化

防犯カメラや街灯の整備といった日常的な街路空間の安全・安心確保に向けた整備に関する意見が多く出ている一方で、緑区では防災情報の周知や避難所などの災害時に求められる施設設備に関する意見も見られています。

日頃のコミュニティ形成による安全・安心の確保

日常的なコミュニティの強化が安全・安心全般において大事だという意見は緑区と南区で多く出ています。特に顔が見える関係づくりや小さなコミュニティで地縁を形成していくことの必要性が問われています。

自助・共助による防犯・防災能力の強化

実際に災害が起きた時、もしくは起きる前の事前準備としてコミュニティの強化や自身の意識向上、知識習得に関する意見が多く出ています。

<「安全・安心」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
自転車マナー・交通安全の徹底	緑区 1 班	歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり	9	51
	中央区 1 班	自転車道の整備	5	
	中央区 1 班	ヘルメット、反射板を希望者に配布	7	
	中央区 3 班	自転車のルール 幼稚園、小中学校、高校などへのルールの徹底	4	
	中央区 4 班	交通ルール 講習があるにもかかわらずルールが守られていない原因の調査	1	
	中央区 5 班	自転車を中心とした安全講習の区民全員義務化 将来的には自転車歩行者安全通行のため道を整備	8	
	南区 1 班	自転車への安全ルール徹底。市の教習所設置	11	
	南区 2 班	交通安全対策 道路の整備 マナーの向上	2	
	南区 3 班	自転車の安全・啓蒙活動	4	
空き家の活用	緑区 1 班	増加する空き家の活用（シェアハウスなど）	3	28
	中央区 1 班	空き家の有効活用	2	
	中央区 2 班	空き家や緑の有効活用（景観を整える）	7	
	中央区 3 班	空き家の地域住民活動への開放	10	
	南区 4 班	行政が空き家、空き地の把握、管理、運用をし、 情報を地域住民に提供	6	
防犯・防災設備による機能の強化	緑区 1 班	防災情報の周知と避難設備の整備	3	56
	緑区 2 班	地域や時代に応じた環境整備	1	
	緑区 3 班	防犯カメラの路地から大通りの角への設置の推進	4	
	緑区 3 班	広域避難所へのトイレの設置と飲料水の確保	9	
	中央区 2 班	外灯や防犯システム（カメラ etc.）などの設備を充実させる！	20	
	中央区 4 班	街灯がほしい 防犯ブザー、災害マップの周知	2	
	中央区 5 班	高齢者、空き家対策や犯罪から守る方策、具体的手口の広報	0	
	南区 1 班	防災への市の関わり（ゲリラ豪雨、竜巻）の情報を詳細化	4	
	南区 4 班	防犯対策、自転車盗難対策として防犯カメラの設	13	

		置		
日頃のコミュニティ形成による安全・安心の確保	緑区 2 班	地域のつながりと再構築	3	48
	緑区 2 班	一人ひとりの意識改革	6	
	緑区 4 班	顔の見えるまちをつくる	7	
	緑区 4 班	市が自治会や地域活動の援助をする	4	
	緑区 4 班	市民一人ひとりがいさつ・声かけに取り組む	6	
	南区 2 班	それぞれの世代のコミュニティと関係をつくる	9	
	南区 3 班	小さなつながりの推進	1	
	南区 3 班	高齢者の医療対策	3	
	南区 5 班	挨拶と笑顔による連帯感	7	
	南区 5 班	地域の仲間づくり	1	
	南区 5 班	個人と組織をつなぐ	1	
自助・共助による防犯・防災能力の強化	緑区 3 班	災害時における高齢者の孤立化に対して有志グループの見守り	2	35
	中央区 2 班	防災システムの強化 × 防災意識の強化	4	
	中央区 3 班	防災教育の充実	4	
	中央区 4 班	災害時の対策への周知がされていない地域のコミュニケーション	8	
	中央区 5 班	ハザードマップの啓発、個人の意識醸成、自治会に頼らない組織づくり	6	
	南区 1 班	防災の意識を高めるために自治会加入を促進	3	
	南区 2 班	自分たちで災害対策を行い、自分の身は自分で守る。もしもの時はコミュニティで助け合う。	4	
	南区 4 班	防災で大切なのは、近所のネットワーク、コミュニティ。日頃から意識を持って声かけ（勇気）	4	

Ⅲ. 実施結果 討議 2 「共生・健康」 全体総括

全体の意見をまとめると、以下の8つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「高齢者の社会参加機会の拡大」で、高齢者の活躍に関する意見がどの区からも出ています。

高齢者の社会参加機会の拡大

元気な高齢者（アクティブ・シニア）の増加に伴い、退職後の高齢者の知識や力を地域のために活かす、地域で活躍できる場をつくるという意見が南区と緑区で多く出ています。また、短時間での就労などの具体的な対応策についても意見が出ています。

高齢者の地域での見守り・支援

独居の高齢者や地域の高齢者を地域コミュニティで助けていくべきだという意見が多く出ています。特に南区で積極的に、見守りや居場所づくりといった意見が多く出ています。

介護・福祉従事者の環境改善

介護・福祉従事者の担い手が不足している現状に対して、職場環境や処遇に問題があり、改善するべきだと考える意見が多く出ています。職場環境や処遇、現状を理解することで、地域で介護職が増加していくことが望まれています。

障害者福祉・自立支援

障害者福祉について、障害への理解促進、人権教育など、障害への理解の必要性に関する意見が出ています。

健康福祉・医療対策

健康への興味促進、関心拡大が、個人の健康の向上につながるという意見が南区で多く出ています。また、健康診断の受診率の低さを課題に感じている意見も見られます。

自治会活動・コミュニティの活性化

共生というテーマに対して自治会活動の活性化やコミュニティの強化に関する意見が多く出ています。特に、就労世代や女性など、特定の対象も巻き込んだコミュニティのあり方や、運動会や盆踊りといった地域行事によってコミュニティを強化することが検討されています。

ボランティアや共生の場づくり

コミュニティの活性化や地域での共生のためには場づくりが必要であるという意見が多く出ています。地域密着の拠点や工業地帯の交流拠点などのハード的な整備と、民間の運営ノウハウの活用やコラボレーションといったソフト的な整備の両面に渡った議論が行われています。

貧困対策

子どもの貧困や生活保護などの社会的な課題に対して、必要な支援を実施し、貧困家庭を減らしていくことが多く議論されています。また、若年層世帯が働ける環境やボランティアなどによる教育機会の確保など、貧困の負のスパイラルを止めるための方策について多く意見が出ています。

<「共生・健康」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
高齢者の社会参加機会の拡大	南区 1 班	動ける高齢者の増加拡大	9	39
	南区 5 班	ヤル気高齢者の肩を押す 自立支援	8	
	緑区 1 班	高齢者の活躍	10	
	緑区 3 班	高齢者の自立及び社会参画の実現	3	
	緑区 4 班	短時間の就労支援	7	
	中央区 4 班	高齢者が生き生きと暮らせる地域	2	
高齢者の地域での見守り・支援	南区 4 班	一人暮らし高齢者のリストアップ、地域が声かけできる仕組み	7	13
	南区 3 班	地域福祉の活性化 高齢者が活躍できる場所・機会の提供	4	
	南区 2 班	高齢 / コミュニティづくり、場所、住居（環境づくり）	1	
	緑区 2 班	高齢者の見守り体制充実	1	
介護・福祉従事者の環境改善	南区 3 班	介護福祉の現状を知る	1	19
	中央区 1 班	介護する方を増やすために職場環境改善・賃金アップ	6	
	中央区 2 班	介護福祉関係者の処遇の改善	4	
	中央区 2 班	大学病院の誘致・健康寿命を延ばす努力	3	
	緑区 3 班	介護職がなりたい職業になる	5	
障害者福祉・自立支援	南区 4 班	人権教育 障害者に絞る	2	18
	中央区 4 班	「障害への理解促進」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア単位制の導	16	

		入		
	中央区 1 班	自立支援の援助 障害者のやりがいづくり	0	
健康福祉・医療 対策	南区 3 班	健康に関する個人知識の向上	11	30
	南区 5 班	個人の健康意識の向上 皆で一緒に健康診断	8	
	南区 1 班	健康診断受診率のアップ	2	
	南区 5 班	医療と支援との連携	2	
	緑区 1 班	ヘルプマークの活用	6	
	緑区 2 班	医療従事者の不足対策	1	
自治会活動・コ ミュニティの 活性化	南区 2 班	就労世代のコミュニティづくり	10	17
	南区 4 班	コミュニティの活性化	0	
	緑区 4 班	自治会の活動の細分割	2	
	中央区 3 班	運動会、盆踊り、お祭りの増加	4	
	中央区 5 班	地域のコミュニティ力を高める	0	
	南区 2 班	共同参画 ~ 女性の活躍!!	1	
ボランティア や共生の場づ くり	緑区 2 班	地域コミュニティの場づくり	11	33
	緑区 3 班	工場地帯の多世代拠点整備	3	
	緑区 4 班	地域に密着したボランティアの拠点づくり	3	
	中央区 2 班	交流の場をつくる。民間の運営ノウハウを生かす。	10	
	中央区 3 班	企業誘致の為、法人税の緩和	6	
	中央区 3 班	ボランティア&民間企業とのコラボによるコミュニケーションづくり	0	
	中央区 4 班	地域の課題を考える場づくり	0	
貧困対策	南区 1 班	貧困家庭を減らす ボランティアを活用した教育	1	36
	緑区 1 班	子どもの貧困支援	5	
	中央区 5 班	若者が住める町にしてい	6	
	中央区 1 班	生活保護世帯への支援方法について・若年層世帯の働ける環境づくり	15	
	中央区 5 班	生活保護制度の再評価・再構築	9	
	中央区 5 班	人を呼び込む街づくり 保険の補助、在宅勤務の強化	0	

IV. 実施結果 討議3 「環境」 全体総括

全体の意見をまとめると、以下の5つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「環境教育・周知の推進」で、中央区と南区の多くの班から意見が出ています。

里山・自然環境の保全

津久井地域の里山や宮ヶ瀬ダム、相模川や自生するホタルなどの豊かな自然環境を保全し、遊休農地なども積極的に活用していくべきだという意見が緑区から出ています。中央区、南区からは意見が出ていませんが、農地や公園といった身近な緑地については「農地や公園の利活用」の観点で意見が出ています。

ごみの分別・リサイクル

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、意見数は最も多くなっています。最も身近な課題として、ごみの分別の煩雑さについて多く意見が出ており、適切なごみ処理に留まらず、極力リサイクルをしたり、ごみ袋を有料化したりしてごみを減らしていく工夫をするべきだという意見が多く出ています。

環境教育・周知の推進

中央区と南区で意見が多く出ており、得票数も最も多くなっています。身近に豊かな環境資源が少ないからこそ、子どもから大人まで、環境問題を自分事として捉えなおす機会を必要としていることが伺えます。

農地や公園の利活用

身の回りの公園や街路樹を保全すべきという意見が多く出ています。特に、緑被率が低いことを課題として感じ、限られた緑地資源をどのように保全するか、増やすかを検討しています。

再生可能エネルギー活用の推進

太陽光パネルへの興味関心が強く、多くの班で意見が出ています。特に学校などの大規模な公共施設に設置することでエネルギー効率が良くなり、かつ環境教育にも繋がるといった利点が検討されています。

<「環境」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
里山・自然環境の保全	緑区 3 班	里山、遊休農地の活用	7	13
	緑区 2 班	世代を超えた里山保全活動	3	
	緑区 1 班	緑地帯に ” ほたる見守り隊 ” をつくる。	3	
ごみの分別・リサイクル	緑区 3 班	分かりやすいごみ分別 一覧表の配布	4	54
	緑区 4 班	資源循環 資源の理解 活用 保全 振り返り	3	
	緑区 2 班	ポイ捨て禁止の看板づくり	2	
	緑区 1 班	ごみ分別が徹底されていないので、地域コミュニティを利用して集積場に冊子を置く	1	
	中央区 1 班	・ごみの有料化・粗大ごみの活用・他自治体からのごみの受け入れ	8	
	中央区 2 班	・分別の冊子を図解でわかりやすく書いてほしい・リサイクル品を常設していつでも見られる様にしてほしい	6	
	中央区 3 班	資源循環教育の促進 ごみの減量化	0	
	中央区 4 班	リサイクルしたもの パーセンテージ化でなく、資源化 P R 企業側の努力 ごみ収集の完全民営化	0	
	南区 1 班	食品ロスの削減、賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設	12	
	南区 2 班	資源循環 リサイクルの促進 リサイクルフェアを公園で開催	8	
	南区 4 班	家庭ごみの削減 ・ごみ袋有料化・生ごみを肥料化（処理器）	7	
	南区 3 班	資源有効活用とリサイクル・ごみ排出ルールの周知と理解。科学技術進歩による廃棄物の再利用	2	
	南区 5 班	不法投棄をなくすために黄色ごみ袋の有料化	1	
環境教育・周知の推進	中央区 4 班	将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施 森林、農業、木工体験	12	61
	中央区 3 班	植林などを通じて、子ども～高齢者までが参加し、異年齢交流と環境に対する意識を高める！	11	
	中央区 1 班	環境教育を世代毎に合わせて継続的に行う	8	
	中央区 5 班	環境教育の子どもから大人への発信で広がりを持たせる	3	
	中央区 2 班	環境情報センターの周知と活動拡大	1	
	南区 5 班	環境問題を日常の問題として捉えられるよう視覚化する	11	

	南区 2 班	相模原麻溝公園の有効活用・・・イベント催し物の開催。市民清掃活動と一緒にボール遊びができる公園を増やす	5	
	南区 3 班	エコ・優良環境へ無関心から環境企画者へ	5	
	南区 4 班	モットイナイ精神の教育	5	
	南区 1 班	温暖化の数字を駅や公共施設などでパネルなどに定期的にアップして、削減目標を意識化する。	0	
農地や公園の 利活用	緑区 2 班	老若男女利用できる多目的な公園	11	52
	緑区 4 班	農地の地目変更の推進	8	
	緑区 3 班	市営公園の整備と活用(防犯カメラ、街灯など)	3	
	中央区 4 班	相模総合補給廠の公園化 相模川をきれいに！！ 宮ヶ瀬ダムを第 2 の黒部ダムに。	8	
	中央区 5 班	「緑被率対策」 空き面積の有効化	8	
	中央区 2 班	・街路樹の保全(減少している為) 適した樹木を選ぶ ・各地域に小公園をつくり、閉じこもりを防止	2	
	南区 1 班	こんな公園がほしい！・コンサートができる・ドッグラン・噴水や水場がある・森林浴・大型遊具がある・スポーツ広場	4	
	南区 3 班	公共交通の充実(補助 安価で) 自然・農地面積確保、空き家の取り扱い整備、道路の整備	4	
	南区 4 班	緑豊かな町づくり ・高齢者ボランティアによる公園など整備	3	
	南区 5 班	都市緑化・公園 公園・街路樹を増やす	1	
	南区 1 班	自転車利用環境の整備・専用道路の整備・フリーレンタサイクル	0	
再生可能エネルギー活用の 推進	緑区 4 班	公共機関や学校などにソーラーパネルで電気をつくり送る	7	26
	緑区 1 班	再生可能エネルギーLEDの取替補助	5	
	中央区 3 班	太陽光パネルを小中学校に取り入れることで、発電と共に子どもたちの意識も同時に高める！	8	
	中央区 5 班	温度や費用の見える化、成果の数値化、比較化	5	
	中央区 1 班	・クリーンエネルギー(太陽光など)の公共施設からの導入、拡大 ・ヒートアイランド対策 道路 屋上の緑化	1	

V. 実施結果 討議4 「子ども・教育」 全体総括

全体の意見をまとめると、以下の4つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「地域の子育て環境・居場所づくり」で、緑区、中央区、南区の多くの班から意見が出ています。

学校教育の充実

授業のカリキュラムや教員の質や待遇の改善、エアコンの導入など、学校内の課題について緑区と中央区から多く意見が出ています。特に学力の地域差や学区の見直しなど、市内においても地域によって教育環境に差があることへの課題が見えています。一方で南区からは、学校外での努力に重きが置かれていることが伺えます。

地域の子育て環境・居場所づくり

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、意見数は最も多くなっています。地域の子どもたちは地域で守り、育てていく必要があると感じている方が多く、どのような活動で子どもたちを育てていくか、どのような場所が活用できるかについて、具体的な意見が多く出ています。

生涯学習や多世代交流による教育

子どもたちだけに限らず、市内の様々な資源を利用して大人や高齢者まで、地域みんなで学習していこう、多世代の交流によって教育を進めようという意見が緑区と南区で多く出ています。特に、緑区の野外観察会や南区の寺子屋など、地域の特色が最も色濃く反映されている意見になっています。

子どもの貧困対策

中央区で意見が多く出ており、教育が満足に受けられない家庭、子どもへの支援対策が多く求められています。支援の内容は教育に限らず、就労支援や給食費支援、生活保護支援など多岐に渡り、討議2の「共生・健康」でも討議があったとおり、負のサイクルを断ち切ることが求められています。

<「子ども・教育」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
学校教育の 充実	緑区 2 班	学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上（研修）+ 地域教育力の 向上	9	33
	緑区 3 班	小・中学校の夏期講習の充実 空調機器の導入、教師の待遇改善	9	
	緑区 1 班	学校のスマホ頼りの解消	0	
	中央区 2 班	中学校における不公平感をなくす 生徒による先生への評価	1	
	中央区 3 班	～学校のインフラ整備～ ・学区の見直し、エアコン完備	0	
	中央区 3 班	～学校の地域参加を進める～・校外への学習機 会をもうける	11	
	中央区 5 班	外国語教育の充実 地域の外国人に活躍しても らう 小学校のカリキュラム化	3	
地域の子育て 環境・居場所 づくり	緑区 1 班	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	7	86
	緑区 2 班	地域で子どもを育てる	5	
	緑区 4 班	子どもの居場所づくり・勉強も遊びも安心して いられる所	4	
	緑区 2 班	地域での児童生徒の見守り	0	
	中央区 1 班	児童クラブを駅付近に設置 ボランティアと先端教育の強化	8	
	中央区 3 班	～地域と一緒に子どもを育む～ 共働き家庭の子どもの居場所づくり 空き家の 活用	8	
	中央区 5 班	住民同士による子育て、支えあい・子育て 1 1 0 番の家の活用	8	
	中央区 2 班	小中学校の設備を利用した塾	6	
	南区 1 班	遊び場の確保 ・校庭、体育館の開放 ・公民館を子どもでも利用できるようにする	11	
	南区 2 班	楽しい子どもの居場所拡大・小学校の空き教 室・空き家利用	9	
	南区 4 班	・保育園の拡充・子育て支援の専門家の資格を つくる・保育士の地位向上	6	
	南区 5 班	親の就労環境改善、親の教育支援及び組織化、 障がい児に対する理解	5	
	南区 1 班	子育てハンドブックの作成 出産～義務教育終了までにかかる費用と公共の 支援制度を見える化	5	
	南区 5 班	交通便の良い所に保育園・子どもセンター 遊び場の確保及び関係者の連携強化	2	
	南区 5 班	産院の増強、ネットによる混雑分散	2	

	南区 4 班	障害児を助ける ・児童福祉施設、療育施設の質向上・障害への理解促進	2	
生涯学習や多世代交流による教育	緑区 4 班	緑区ならではの野外観察会など 地域多世代の企画運営	9	64
	緑区 1 班	学校施設を利用した放課後学習	6	
	緑区 1 班	温泉施設を利用した生涯学習の充実	5	
	緑区 3 班	高齢者などを含めて生涯学習の充実強化 公民館の学習テーマの充実と受入人員の増強	3	
	緑区 1 班	障害者の社会参加支援	0	
	中央区 4 班	市が教育の場の提供をし、子育て世代と経験者が交流する 出産、子育ての費用を無料化	12	
	南区 2 班	学習イベントなどの周知メールを充実させる	6	
	南区 1 班	地域コミュニティの活性化 市民の保有するスキルを共有し小中学校の課外活動のサポートに活用する	3	
	南区 2 班	ボランティア講座や見守り隊の講習による世代間交流	3	
	南区 4 班	生涯学習で自己啓発 ・高齢者の方が生涯学習を通じて地域のモデルとなる	3	
	南区 3 班	子どもから大人まで人間育て スマイル0円 笑顔であいさつ	1	
	南区 3 班	教育 高齢者・児童・生徒の”寺子屋” 半ボランティアで空き家を利用	13	
	子どもの貧困対策	中央区 1 班	DVの現状把握・里親制度の活用	
中央区 5 班		無料学習塾の設置	5	
中央区 2 班		出産～義務教育は無料化にする 若者世帯の流入・不妊治療	2	
中央区 1 班		生活保護の支援プログラム ・特殊技能を紹介・仕事に対する生きがいづくり・親に対する教育	1	
中央区 4 班		公教育では給食費を無償化・学びたいことを学べる制度 家庭教育では親に対して、これからの世代を生きる子どもをとりまく環境の講座	8	
中央区 4 班		無料塾の実施 空き家、学校の放課後を利用 学生、退職者などがボランティアで使わなくなった本の提供	0	
南区 3 班		”子ども食堂”を展開	0	

VI. 実施結果 討議5 「活力・交流」 全体総括

全体の意見をまとめると、以下の7つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「観光振興による集客力の向上」で、緑区、中央区、南区の多くの班から意見が出ています。

交通アクセスの改善・強化

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、特に、今後の高齢化社会に求められる交通手段としてコミュニティバスに関する意見が多く出ています。また、リニア中央新幹線や小田急多摩線の延伸など、今後の交通インフラの開発についても興味関心が高いことが伺えます。

農業の振興や特産品の販売などの推進

緑区で多く意見が出ており、農業の収益性を高めていくために、農作物のブランド化や収益のある農業への投資、特産品などのアピールをしていくことが求められています。また、南区からは、遊休農地に民間活力を導入して運用する提案が出ています。

観光振興による集客力の向上

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、各区で提案している観光振興の形が異なることが特徴的です。緑区では、区内の豊かな観光資源をさらに活性化させ、人を呼び込むことが提案され、中央区では、新たな観光資源を探すところから始め、インバウンドにも対応できるような戦略が検討されています。また、南区では、道の駅などを利用して地元の物産品をアピールして収益を上げていくことが検討されています。以上のように、それぞれの地域の特色を踏まえた意見が出されています。

商店や商店街の振興と利便性の向上

中央区と南区で多く意見が出ており、地域の商店を盛り上げる意見として、全移動型商店街、シャッター商店や空き店舗の活用、買い物代行業など、新たな商店のあり方について討議されています。また、地域で商売を行う店主を育成することも重要な視点として意見が出ています。

雇用の創出や企業誘致

市内企業を増加させ、活力を創出することを目指す意見が出ています。IT企業の誘致やサテライトオフィスの創設など、社会情勢に見合った産業戦略が検討されてい

ます。また、高齢者雇用や就労時間の細分化など、働き方改革に通じる意見も出ています。

相模総合補給廠の活用

相模総合補給廠の跡地利用について、まちづくりのコンセプトを検討する意見が出ています。

スポーツ振興

オリンピックを契機として、障害者スポーツの振興やホームタウンチームの盛り上げなどに関して意見が出ています。その他に、日常的に利用するスポーツ施設の充実についても意見が出ており、スポーツに取り組む機会について関心があることが伺えます。また、代表的な意見としては出ていませんが、南区の「その他のアイデア・書き残しておきたいこと」の中には、オリンピックのキャンプ誘致などに関する意見も出ています。

<「活力・交流」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
交通アクセスの改善・強化	緑区 3 班	無料化など、バスの利便性の向上	7	39
	緑区 2 班	老若男女にやさしい交通網整備 集合タクシー、路線バスをつかひやすく / 渋滞解消	4	
	緑区 4 班	圏央道までのアクセス道路の整備	3	
	緑区 1 班	津久井地区への交通アクセス改善 コミュニティバス、自転車専用道路	2	
	中央区 2 班	コミュニティバスを増便、免許返納者にタクシーチケット（企業連携）、貸出し自転車の設置	3	
	中央区 1 班	コミュニティバスの充実、自転車道路などの充実	1	
	中央区 4 班	小田急延伸を早急を実現、渋滞の解消	0	
	中央区 5 班	リニア、小田急延伸などのハード面の整備とソフト面の整備による人が集まる相模原	1	
	南区 1 班	電線の地中化、道路拡幅による自転車道の確保、景観の改善、交通渋滞の解消	13	
	南区 4 班	高齢化時代に対応した多目的コミュニティバスの運行	3	
	南区 2 班	鉄道や道路などインフラ整備	1	
南区 3 班	交通弱者の救済、渋滞なき道路のためのバス専用道路	1		
農業の振興や特産品の販売などの推進	緑区 3 班	農作物のブランド化・近隣市区町村への P R	3	9
	緑区 2 班	収益のある農業や魅力ある農業への支援	1	

	緑区 4 班	道の駅で津久井町の特産品を売る	3	
	南区 1 班	遊休農地の運用の民活	2	
観光振興による集客力の向上	緑区 1 班	都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客	9	70
	緑区 2 班	観光スポットを活かした地域の活性化	7	
	緑区 1 班	緑区の地域の特色を生かした自然体験	4	
	中央区 3 班	外国人観光客向けに外国語教育・交流イベント、小・中高生観光ボランティア、外国語表記の案内	8	
	中央区 3 班	Wi-Fi 増設、JAXA、国民生活センター見学など集客、西門の活用、観光PRをアニメーション業界へ依頼	6	
	中央区 5 班	観光地の掘り起こし、道の駅の新設、既存の施設の有効活用、アピール	5	
	中央区 1 班	相模原新名物発掘（全国PR） お土産がない	11	
	中央区 3 班	相模原ブランドの創生 ・新規の企業誘致と既存の観光資源のPR	1	
	南区 4 班	地元物産品の支援 道の駅・駅での販売（地産・地消）	13	
	南区 2 班	道の駅・観光ミニバス・農産物（やまといも）のPR	4	
	南区 5 班	外国人観光客のコトバの壁のハードルを下げる	2	
商店や商店街の振興と利便性の向上	中央区 5 班	専門学校の新設、福祉、農業、商業など、地元で活躍できる人材の育成	14	35
	中央区 2 班	・商店の活用（店主の育成）、インターチェンジ付近の土地活用、人気チェーン店を増やす ・広葉樹の植林、地元農産物	5	
	中央区 3 班	買い物支援（前期高齢者、若年層の雇用をもっと広げる） ・買物代行業・訪問販売・移動スーパー・コミュニティバス	4	
	中央区 4 班	シャッター商店を有効活用しシャッターを開けさせる	1	
	南区 3 班	全移動型商店会 小学校や空き地に商店会出張	6	
	南区 1 班	特色ある店、サービスの公募・登録など、空き店舗の活用	5	
雇用の創出や企業誘致市の政策強化による活力の向上	南区 2 班	サテライトオフィスの創設 法人増への代替案	14	33
	南区 3 班	高齢者雇用の工夫、就労時間の細分化 - 元気な高齢者の就労支援	3	
	南区 5 班	企業の誘致、企業へのサービスの充実	2	
	緑区 3 班	行政がやっている事、提供しているサービスを浸透させる！！	5	
	緑区 4 班	IT企業を含めたオフィスビルを建てて、企業誘致	9	

相模総合補給廠の活用	中央区 4 班	相模原駅前の基地について、北口、南口でエリアを分ける 北口：アメリカ風なまちづくり 南口：日本風なまちづくり	15	15
スポーツの振興	南区 4 班	地区別対抗 障害者バスケ・ラグビーなどのスポーツ大会の開催で応援・体感する	1	2
	南区 5 班	ホームタウンチームを盛り上げる 他のイベントの同時開催	1	
	中央区 1 班	公園附帯設備のスポーツ施設の充実	0	

VII. 実施結果 討議6 「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」 全体総括

全体の意見をまとめると、以下の8つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「商業・産業の盛んな街」で、緑区と南区の多くの班から意見が出ています。

発信力・競争力のある街

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、意見数も最も多くなっています。地域の将来を考えるにあたって、市民にとっても、外から来る人にとっても魅力的な市として相模原をアピールしていく必要を強く感じており、既存の資源や新たな魅力を創出してブランド化を図り、転入人口や交流人口が増えていく街の将来像が望まれています。

子育てしやすい街

緑区と中央区で多く意見が出ており、討議4「子ども・教育」で出た意見が改めてまとめられています。教育を充実させ、ボランティアやサービスの強化によって子育て支援を率先して実施することで、将来市を担う若者を育てていく必要があるということが討議されています。

シニア世代が活躍できる街

高齢者世代に絞った意見が中央区で多く出ています。少子高齢化社会の中で、今後さらに増加していく高齢者が新たな地域の担い手となって再度活躍をしていくことで地域を盛り上げていくべきだと感じられています。そのためには、シニア向けのまちづくりや、老人クラブなどの交流の場の活性化などが求められています。

多世代が暮らしやすい街

子どもから高齢者まで、対象を絞らずに、市民みんなが協力しながら暮らしやすい街をつくっていくべきだという意見が出ています。一人ひとりが自立する一方で地域の子どもや高齢者を守っていくための基盤を作っていくことが求められています。

商業・産業の盛んな街

地域の特色を生かして産業を活性化していく緑区の意見と、新たな産業政策によって効果的に産業振興を図る南区の意見が多く出ています。働く場としての市の魅力の増加と観光地としての市の魅力の増加の両面から市を捉え、産業が活性化した将来像が望まれています。

地域コミュニティが活発な街

どの区からも多く意見が出ており、様々な取組みの根底にある地域のコミュニティや人と人とのつながりを一層強化していくことが目指されています。特に世代間の交流や外国人、SNSでのつながりなど、既存のコミュニティの単位にとらわれず、新たなコミュニティの姿を模索していくことが検討されています。

財政の自立した街

緑区と中央区で意見が出ており、市の財政について市民自らが関心を持ち、財政の自立を目指していくことが討議されています。また、リニア中央新幹線や商業施設などの、今後の大規模な開発を見据えた財政の充実も期待されています。

安全・安心な街

討議 1 「安全・安心」で出た意見をまとめ、街灯、防犯カメラの設置、住民みんなで安心な街を形成していくことについて中央区から意見が出ています。

<「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
発信力・競争力のある街	緑区 4 班	相模原と言えば をつくる！！ 商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット	10	35
	緑区 2 班	市民による発進（信）力 地域の良さを知る、市民が意見を共有できる場	7	
	中央区 2 班	定期的なイベントの交流や市のブランド化を図り、市に新しく外の人を呼ぶ！若い人の流出を防ぐ	3	
	中央区 4 班	企業、起業の助成、鉄道、商業誘致によって若者世代の魅力を UP する	2	
	中央区 3 班	市に負けない斬新な教育制度や支援制度、豊かな自然を生かした子育てを実現した子育てタウン相模原	0	
	中央区 4 班	JAXA やダムコンテンツの強化、インフラの整備	0	
	南区 4 班	「相模原」ブランドの確立 子どもが独立しても住み続けたいと思う街	8	
	南区 1 班	相模原の東国原さん 大好き相模原と言えるまちづくり	2	
	南区 5 班	・緑を多く、公園の整備、地産地消・アクセスが良好・研究都市	2	
	南区 4 班	全国から見学に訪れるような「理想のモデルタウン」の建設	1	
子育てしやすい街	緑区 3 班	子どもたちのための教育の充実	6	20

	緑区 1 班	子どもたちが住み続けたい街 高齢者ボランティアによる子ども支援	5	
	緑区 2 班	将来子どもが残ってくれる、住みたい と思える街	1	
	中央区 4 班	教育の無償化、医療サービスの充実な どによる人づくり	8	
	中央区 1 班	オギャー！子育て支援によってジュニア 世代がハッピーになれる街 SAGAMIHARA	0	
シニア世代が活躍 できる街	中央区 1 班	シニア世代がエンジョイできる街！！ SAGAMIHARA	12	26
	中央区 3 班	コンパクトな町「相模原駅のブランド 化」 相模原駅を中心に活性化し、シニアが 気持ちよく住めるシニア向けタウンの 設立	10	
	中央区 1 班	・老人クラブ若返りや子どもたちとの 交流の場づくり ・あじさい大学カリキュラムの充実！	0	
	南区 2 班	「健康長寿の街に」 健康・福祉に関 するセミナーやワークショップの開 催” 予防医学の定着”	4	
多世代が暮らしや すい街	南区 1 班	子育て、医療、教育、介護などすべて の困りごとのよろず相談窓口	14	26
	南区 1 班	支援に頼らない、一人一人が自立した 生涯の実現	5	
	中央区 5 班	子どもと高齢者を守る ボランティア・市からの補助特典 異年齢交流イベント・自治会への参加	7	
商業・産業の盛んな 街	緑区 3 班	相模原の特色を生かし、活性化した産 業と文化の薫る町	8	49
	緑区 1 班	津久井の活性化	7	
	緑区 2 班	外部との協業 商業施設、ベンチャー企業、市立大学	4	
	緑区 4 班	働きやすいまち”相模原” 高齢者の再雇用、寺子屋の運営、働く 場所の創造	3	
	南区 3 班	住んでみよう勤住相模原 ・女性に安心安全の街・オフィス地区 整備	8	
	南区 2 班	「得意な産業を発展させ豊かな街に」 産業 ” 産学連携 ” ユニコムプラザ を有効活用	7	
	南区 5 班	働く場の多い相模原 サテライトオフィス、企業誘致、高齢 者雇用、短時間労働	7	
	南区 3 班	JAXA との連携、宇宙大学創設	5	
地域コミュニティ が活発な街	緑区 4 班	住みやすく、産みやすいまち”相模原” 交通・コミュニティ・子育て・災害対 策	4	30

	緑区 3 班	地域コミュニティの盛んな町をめざして！！	1	
	中央区 2 班	空き家を活用した地域交流などで新しい近所づきあいの場をつくる	6	
	中央区 3 班	交流ができる町 ・外国人との交流 - 米軍基地の方との交流 ・「SNSを使った新しい交流の仕方」	6	
	中央区 2 班	学びたい人と教える人を結びつけ、市民全体のレベルアップ	5	
	南区 2 班	相模原と市民が協力する分かりやすい街に	1	
	南区 3 班	人と人とのつながりが強いまちづくり	1	
	南区 4 班	地域コミュニティ（世代間の交流）をより活発にする仕組みの整備！	0	
	南区 5 班	世代を超えて笑顔で交流 世代間交流を活発に、ボランティア参加・笑顔で挨拶・学び続ける都市相模原	6	
財政の自立した街	緑区 1 班	市財政への関心を持ち、財政自立をめざす	1	11
	中央区 5 班	行政・財政の充実 リニア・商業施設などによる収入 観光収入・特産物・子育て支援の充実	10	
安全・安心な街	中央区 5 班	くらしやすい相模原 街灯・防犯カメラの設置、住民みんな笑顔で明るく治安が良い町	4	4

VIII. 区民討議会まとめ

1. 参加者の取組状況

ワークショップに対する参加者の方々の取組み姿勢は大変積極的で、活発な議論が交わられていました。特に特徴的であった点として、今回のような2日間で実施する討議会の場合、2日目の参加者が大幅に減る傾向がある中、1日目と2日目を通して全ての参加予定者にご出席いただいたことが挙げられます。そのため、参加者全員が一丸となり、6つのテーマに対して討議することができたと言えます。

また、模造紙やワークシートのまとめ方についても、絵や図、矢印を用いたり、大事なことを強調したりして表現する「ファシリテーション・グラフィック」と呼ばれる手法にチャレンジする班が多く、何が重要視されているのかなどが明確に表現された成果物に仕上がっています。

2. 意見の全体的な傾向

参加者からの意見の全体的な傾向について、以下のとおり整理しました。

(1) 区ごとの特徴がしっかりと表れていること

緑区では、里山や豊かな自然環境を活用した意見や、都市部と山間部を分けて考える議論が多くされており、山間部の資源としてのアピールなどは特に分野横断的に意見が出ていました。

中央区では、それぞれのテーマで大人も学習するべきだという意見が多く、地域づくりへの関心の高さが見られました。また、身近な居住地域に空き家が多いことが課題視されており、様々な分野において空き家を活用した取組みについて意見が出ていました。

南区では現役世代が活発に意見を出しており、様々なテーマについて産業的な側面で地域づくりを考える意見が多く出ていました。特に、女性の活躍や子育てと仕事の両立などの意見が分野横断的に議論されていました。

(2) 少子高齢化への課題意識が強いこと

どの分野においても、少子高齢化社会を念頭に置いた検討がされており、増加する高齢者がどのように活躍して社会課題の解決に取り組んでいくかという点と、様々な社会課題を子育てや教育に組み合わせることでどう解決していくかという点が議論されました。また、どのテーマにおいても、少子化と高齢化に対して別々に対応するのではなく、子ども向けの取組みと高齢者向けの取組みを相互に関連させる意見が多くみ

られました。そうした中で、現役世代においても同様に取組みに関わることの大切さへの認識が強く、多世代間で老若男女に着目した取組みの得票が多くなっていました。

(3) 地域コミュニティを重視していること

様々な地域課題の解決の方法として、地域コミュニティの活性化に関する意見が全ての分野において多くみられました。特に、多世代での交流機会が少ないことから従来のコミュニティよりも広く様々な人が一緒になって課題に取り組んでいくことに対する期待が大きく、また、防災や福祉においてはいかに日常的なコミュニティを形成していくかが論点になっていました。一方で、全体発表の場でも意見交換があったとおり、自治会などが機能していないわけではない中で、なぜコミュニティや地域参加が不足していると感じているのか、何に参加のハードルを感じているのか、どうすれば形成したコミュニティに誰もが積極的に参加するのか、どのように地域活動を広報していくのか、という新たな課題の投げかけもありました。

(4) 自分たちでやるべきことと市への要望の区別

様々な取組みや制度の案が出ましたが、その中でも、地域コミュニティを活用した課題解決や、ノウハウを生かした取組み、意識改革についての取組みなどについては、自分たちの力で積極的に解決しようとする意見が多く、ハード整備や財政的な支援については市への要望が強く出ていました。特に、街灯や防犯カメラの設置、コミュニティバス導入など、インフラに関する意見は市への要望が一定数あり、今後の市の施策において期待されている分野であると言えます。一方で、健康づくりや環境配慮などのテーマは自分たちの意識改革から始めるべきだという認識が強く、市民自らの取組みを市がうまくサポートし、更なる取組みの強化につなげていくことが重要と考えられます。

<区民討議会全体の意見の整理・得票数の多かった意見まとめ>

討議テーマ	意見の整理	得票数の多かった意見
安全・安心	自転車マナー・交通安全の徹底	【緑区】 歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり
	空き家の活用	【中央区】 外灯や防犯システムなどの設備を充実させる！
	防犯・防災設備による機能の強化	【南区】 防犯対策、自転車盗難対策として防犯カメラの設置
	日頃のコミュニティ形成による安全・安心の確保	
	自助・共助による防犯・防災能力の	

	強化	
共生・健康	高齢者の社会参加機会の拡大	【緑区】
	高齢者の地域での見守り・支援	地域コミュニティの場づくり
	介護・福祉従事者の環境改善	【中央区】
	障害者福祉・自立支援	「障害への理解促進」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア
	健康福祉・医療対策	単位制の導入
	ボランティアや共生の場づくり	【南区】
	貧困対策	健康に関する個人知識の向上
環境	里山・自然環境の保全	【緑区】
	ごみの分別・リサイクル	老若男女利用できる多目的な公園
	環境教育・周知の推進	【中央区】
	農地や公園の利活用	将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施 森林、農業、木工体験
	再生可能エネルギー活用の推進	【南区】
		食品ロスの削減・賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設
子ども・教育	学校教育の充実	【緑区】
	地域の子育て環境・居場所づくり	学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上（研修）+ 地域教育力の向上
	生涯学習や多世代交流による教育	【中央区】
	子どもの貧困対策	市が教育の場の提供をし、子育て世代と経験者が交流する・出産、子育ての費用を無料化 【南区】 教育 高齢者・児童・生徒の”寺子屋” 半ボランティアで空き家を利用
活力・交流	交通アクセスの改善・強化	【緑区】
	農業の振興や特産品の販売などの推進	都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客、アドベンチャー、コンサート、秋葉原的商業施設
	観光振興による集客力の向上	【中央区】 相模原駅前の基地について、北口、南口

	<p>商店や商店街の振興と利便性の向上</p> <p>雇用の創出や企業誘致・市の政策強化による活力の向上</p> <p>相模総合補給廠の活用</p> <p>スポーツの振興</p>	<p>でエリアを分ける</p> <p>北口 アメリカ風なまちづくり</p> <p>南口 日本風なまちづくり</p> <p>【南区】</p> <p>サテライトオフィスの創設 法人増への代替案・在宅勤務・主婦のキャリア再開支援（元気な高齢者）・起業家、個人事業主のサポート</p>
<p>区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える</p>	<p>発信力・競争力のある街</p>	<p>【緑区】</p>
	<p>子育てしやすい街</p>	<p>相模原と言えば をつくる！！</p>
	<p>シニア世代が活躍できる街</p>	<p>商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット</p>
	<p>多世代が暮らしやすい街</p>	<p>【中央区】</p>
	<p>商業・産業の盛んな街</p>	<p>シニア世代がエンジョイできる街！！</p>
	<p>地域コミュニティが活発な街</p>	<p>SAGAMIHARA</p>
	<p>財政の自立した街</p>	<p>【南区】</p>
<p>安全・安心な街</p>	<p>子育て、医療、教育、介護などすべての困りごとのよろず相談窓口</p>	

IX. 参加者アンケート

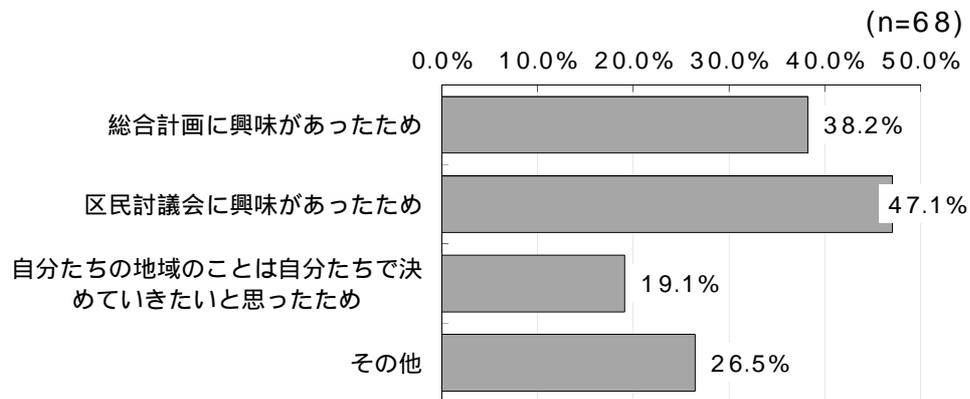
区民討議会終了後、参加者アンケートを実施しました。アンケートの結果は以下の通りです。

1. 区民討議会に関して

(1) 参加理由（複数回答）

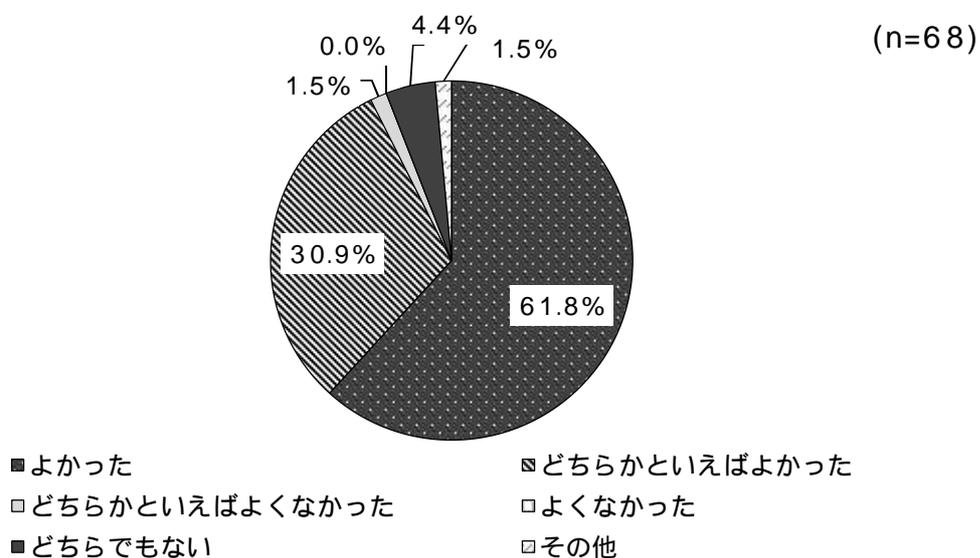
区民討議会への参加理由は、「区民討議会に興味があったため」が47.1%でもっとも多く、次に多かった「総合計画に興味があったため」は38.2%でした。

また、「その他」と回答された26.5%の回答の中では、「よくわからないが参加した」「地域の活動に触れる契機と考えたため」等の意見が挙げられました。



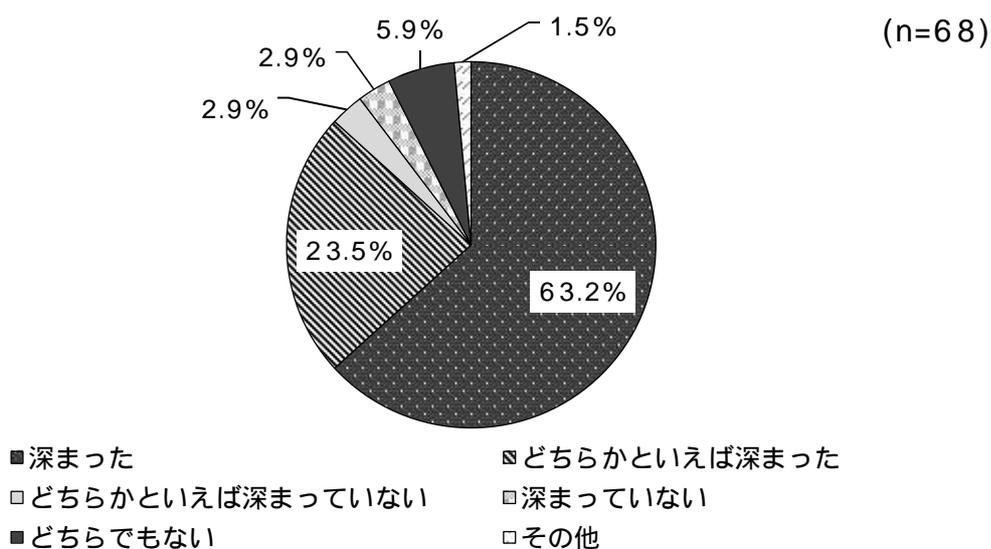
(2) 感想(単一回答)

区民討議会の感想は、「よかった」が61.8%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえばよかった」は30.9%でした。これらを合わせると約9割となり、ほとんどの参加者から概ね良い評価をいただきました。



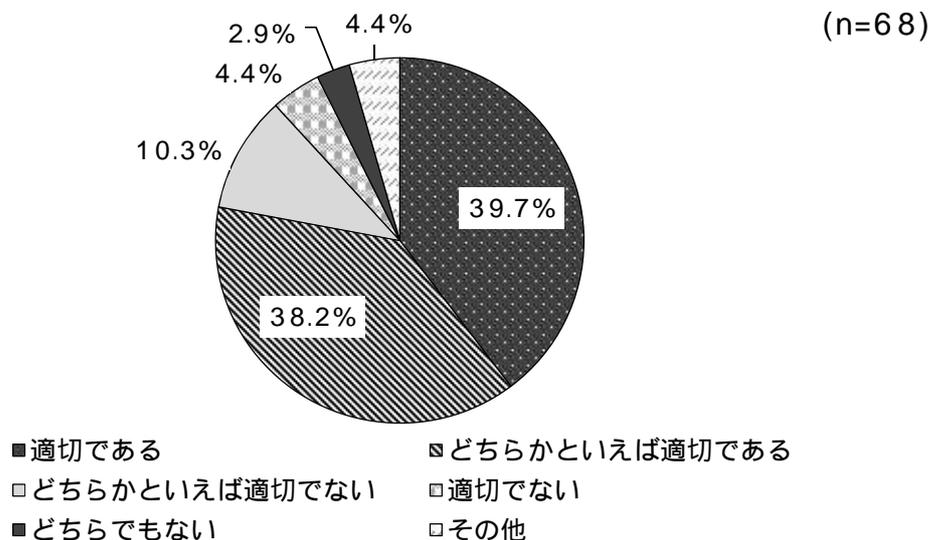
(3) 区の状況や総合計画への関心理解度(単一回答)

区の状況や総合計画への関心理解度は、「深まった」が63.2%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえば深まった」は23.5%でした。これらを合わせると8割以上となり、参加者の区の状況や総合計画への関心や理解の向上につながりました。



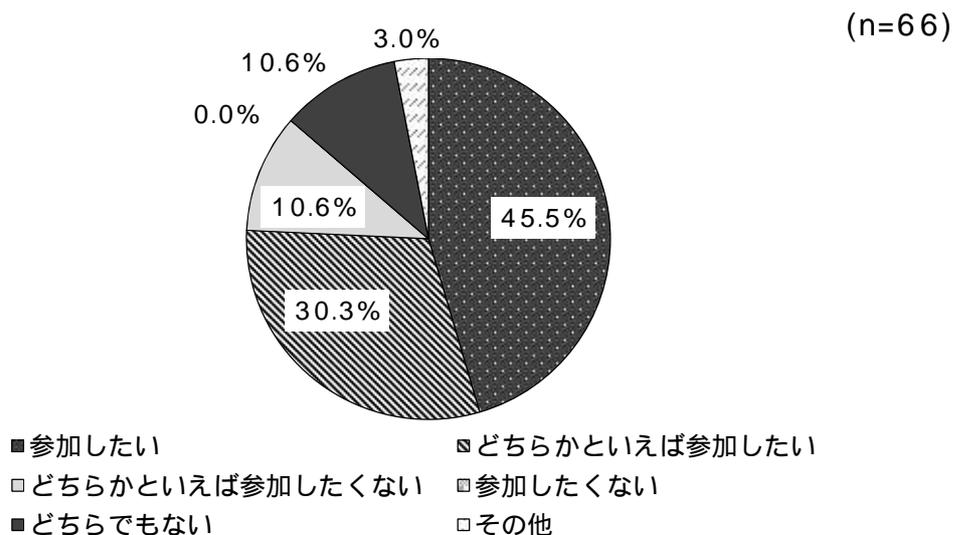
(4) 進め方(単一回答)

区民討議会の進め方に対する評価は、「適切である」が39.7%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえば適切である」は38.2%でした。これらを合わせると約8割となり、進め方については概ね適切であったという評価をいただきました。



(5) 今後の参加意欲(単一回答)

区民討議会への今後の参加意欲は、「参加したい」が45.5%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえば参加したい」は30.3%でした。これらを合わせると7割以上となり、多くの参加者が今後の参加に意欲的でした。

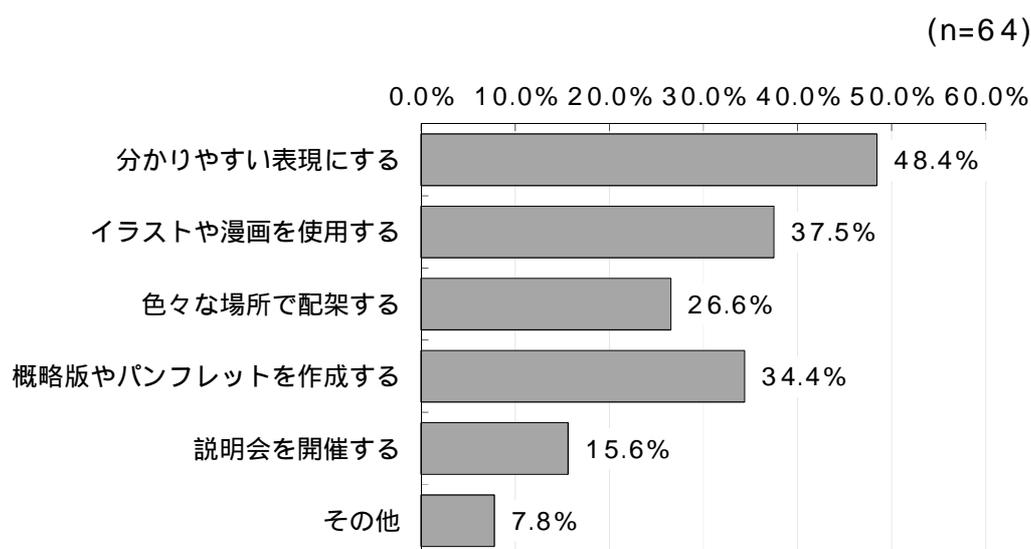


2. 総合計画について

(6) どのような総合計画であれば手に取って読みたいか(複数回答)

どのような総合計画であれば手に取って読みたいかを尋ねたところ、「分かりやすい表現にする」が48.4%でもっとも多く、次に多いのは「イラストや漫画を使用する」で37.5%、その次は「概略版やパンフレットを作成する」で34.4%でした。

また、「その他」の7.8%の中には、「実現可能な内容のもの」などの意見が挙げられました。



(7) 今後総合計画策定において留意すべき点(自由回答)

今後総合計画策定において留意すべき点として、以下の通りさまざまなお意見をいただきました。

<市民参加について>

- ・ 緑区、中央区、南区とそれぞれの区のことを知らないのが現状だと感じました。市全体として市をつくっていく(発展させていく)意識を市民1人1人が持つ必要があると思いました。
- ・ 市民参加型を中心にしたい。
- ・ 属性別の意見を幅広く聞いてほしい。(男女、世代、居住歴など)
- ・ これからも意見をとりあげる機会を作ってください。意見をぜひ生かして下さい。見守っています。
- ・ 市民の声を聞き入れた街作りをしてほしい。過剰な箱ものはいらない。税金を無駄に投与しないでほしい。
- ・ 市民誰もが参加する場も大切だが、有識者、まちづくり経験者の参画が重要。知識と「ゆめ」を持った方々の集まりで未来も策定したい。
- ・ 今回のように、無作為で選ぶのは良いと思います。

<市民への周知について>

- ・ 現状について説明会やその動画をネットに上げるなど市民の理解を深めてもらうような施策が必要ではないか。
- ・ 全ては出来ない。出来ること、出来ないことをはっきり伝える。
- ・ やっている事をもっとアピールして、目に入るようにしてほしいです。
- ・ 住民に注目される発信の仕方を考えてほしい。
- ・ 目指すべき都市像をわかりやすく示してほしい。
- ・ 特に全体が見えづらい。
- ・ 市のやっていることが色々な世代にまで伝わるような方法、媒体、機会があるとありがたいと思います。

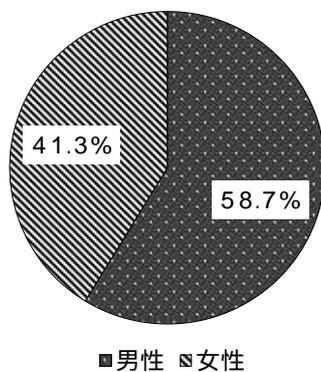
<策定の方向性等について>

- ・ 正確性より分かりやすい表現につとめていただきたい。
- ・ 区ごとに市民の想いは全然ちがうと感じました。地域、地区に応じた計画を期待します。
- ・ 相模原市はとても広いので、地域格差が生じやすいことをどうするのか、そのまま特徴を残すのか、格差を是正するのか、はっきりしてほしい。
- ・ 高齢者や子育ても大切ですが、そこを支えるのは働き手の世代です。若手の子どもがいない人にも支援や助けられているという実感が欲しいです。
- ・ 人口増加、企業(本社)誘致
- ・ 経済性を考える。
- ・ 教育政策、道路・交通政策、高齢者政策
- ・ インフラこそ重要だと思います。
- ・ 緑区の人口が減る原因として、交通の便が悪いと思います。
- ・ 支援を受けない高齢者の自立のための支援(お金でない)
- ・ 斬新かつ大胆なアイデアで政策を考えて下さい。

参考（アンケート回答者の属性）

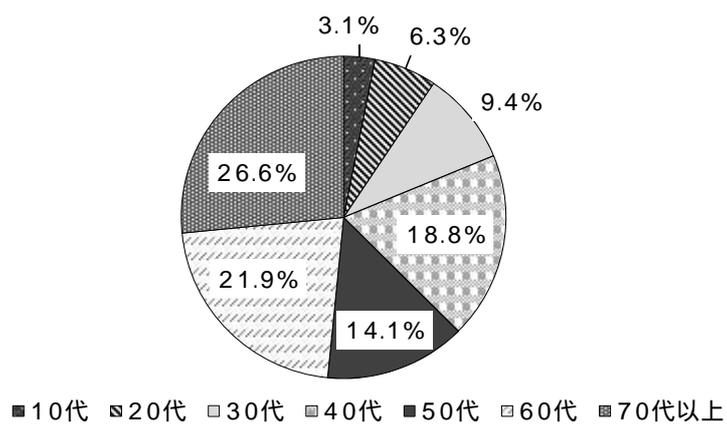
（ 8 ） 性別

(n=63)



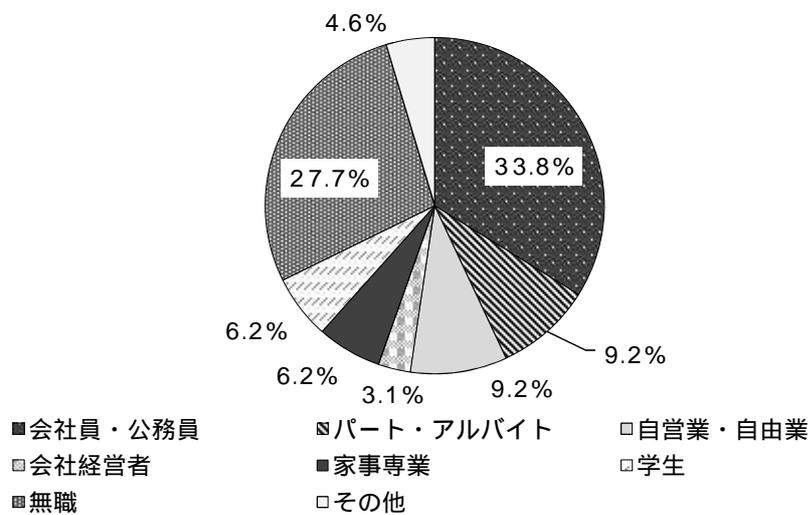
（ 9 ） 年代

(n=64)



（ 10 ） 職業

(n=65)



(1 1) 居住区

(n=61)

